

平成25年住宅・土地統計調査 天草市調査結果

調査期日:平成25年10月1日
調査対象:天草市内の786調査区のうち、総務省が指定した239調査単位区内から抽出した住宅及び住宅以外で人が居住する建物並びにこれらに居住している世帯について調査した。

※利用上の注意

1 統計表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

・1位を四捨五入して10位まで有効数字として表章。

2 本調査は標本調査であるため、統計表の数値は標準誤差を含んでいる。

3 統計表中に使用されている記号等は、次のとおりである。

・「-」は調査又は集計したが該当数字がないもの、または数字が得られないものを示す。

・「0」は調査又は集計したが、該当数字が表章単位に満たないものを示す。

第1表 居住世帯の有無別住宅数及び住宅以外で人が居住する建物数

住宅総数												住宅以外で人が居住する建物数
総数	居住世帯あり			居住世帯なし							建築中	
	総数	同居世帯なし	同居世帯あり	総数	一時現在者のみ	空き家						
						総数	二次的住宅	賃貸用の住宅	売却用の住宅	その他の住宅		
41,010	32,920	32,850	70	8,090	110	7,960	200	1,820	60	5,870	20	110

「居住世帯のある住宅」は32,920戸で、総住宅数の80.3%となり、空き家、建築中の住宅などの「居住世帯のない住宅」は8,090戸で19.7%となっている。

空き家の内訳をみると、「賃貸用の住宅」が1,820戸で22.9%、「売却用の住宅」60戸(0.8%)と合わせると1,880戸(23.6%)は供給可能な住宅である。また、「その他の住宅」が5,870戸で73.7%を占めているが、空き家の「その他の住宅」とは、「賃貸用の住宅」「売却用の住宅」「二次的住宅」以外の住宅で、例えば転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や、空き家の区分の判断が困難な住宅などを含む。

第2表 住宅の種類・構造、建築の時期別住宅数

建築の時期	総数	住宅の種類		構造				
		専用住宅	店舗その他の併用住宅	木造(防火木造を除く)	防火木造	鉄筋・鉄骨コンクリート造	鉄骨造	その他
住宅総数 ※	32,920	31,430	1,500	19,630	8,920	3,420	920	40
昭和35年以前	5,860	5,550	310	4,990	770	90	10	－
昭和36年～45年	3,670	3,510	150	2,740	660	200	60	－
昭和46年～55年	6,090	5,800	280	3,960	1,400	630	110	－
昭和56年～平成2年	5,760	5,480	280	2,860	1,710	930	250	10
平成3年～7年	3,620	3,500	120	1,690	1,230	550	130	10
平成8年～12年	3,200	3,050	150	1,410	1,300	290	180	10
平成13年～17年	2,240	2,180	60	890	850	440	60	－
平成18年～22年	1,740	1,630	120	770	680	200	100	－
平成23年～25年9月	600	570	20	230	300	60	－	－

※建築の時期「不詳」を含む

住宅を種類別にみると、住宅総数32,920戸のうち専用住宅が31,430戸で全体の95.5%、店舗その他の併用住宅が1,500戸で4.5%を占めている。

構造別にみると木造(防火木造を除く)が最も多く、19,630戸で64.4%、次いで防火木造が8,920戸で27.1%となっており、木造と防火木造を合わせると28,550戸で86.7%となっている。

第3表 住宅の建て方、構造、階数別住宅数

構造	総数	一戸建			長屋建			共同住宅			その他
		総数	1階建	2階建以上	総数	1階建	2階建以上	総数	2階建	3～5階建	
住宅総数	32,920	27,440	9,580	17,860	1,520	700	820	3,850	1,940	1,910	120
木造(防火木造を除く)	19,630	18,320	7,240	11,080	990	510	480	300	300	－	30
防火木造	8,920	8,250	2,320	5,930	330	120	210	330	330	－	－
鉄筋・鉄骨コンクリート造	3,420	630	10	630	190	70	120	2,550	730	1,810	50
鉄骨造	920	200	－	200	10	－	10	670	570	100	30
その他	40	40	10	30	－	－	－	－	－	－	－

住宅の状況を建て方別にみると、一戸建が27,440戸で、住宅全体の83.4%を占めており、長屋建が1,520戸(4.6%)、共同住宅が3,850戸(11.7%)、その他が120戸(0.3%)となっている。

共同住宅について、階数(建物全体の階数)別にみると、2階建が1,940戸(50.4%)、3～5階建が1,910戸(49.6%)と均衡している状況にある。

住宅の構造を建て方別にみると、一戸建では木造(防火木造を含む)が26,570戸(96.8%)で、一戸建全体の95%以上を占めている。長屋建でも木造が1,320戸(86.8%)で、長屋建全体の85%以上を占めている。これに対し、共同住宅では、非木造が3,220戸で、共同住宅全体の83.6%となっており、建て方により構造が大きく異なっている。

第4表 住宅の所有の関係、腐朽・破損の有無、建築の時期別住宅数

住宅の所有の関係 腐朽・破損の有無	総数	建築の時期								
		昭和35年 以前	昭和36年 ～45年	昭和46年 ～55年	昭和56年 ～平成2年	平成3年 ～7年	平成8年 ～12年	平成13年 ～17年	平成18年 ～22年	平成23年 ～25年9月
住宅総数 ※	32,920	5,860	3,670	6,090	5,760	3,620	3,200	2,240	1,740	600
持 ち 家	25,560	5,360	2,850	4,810	3,940	2,700	2,450	1,470	1,400	520
借 家	7,320	500	820	1,280	1,820	920	750	770	350	80
公 営 の 借 家	1,510	60	380	380	360	180	80	60	20	－
民 営 借 家 (木 造)	2,940	390	300	560	700	350	250	240	110	10
民 営 借 家 (非 木 造)	2,410	30	60	280	620	320	370	470	210	30
給 与 住 宅	460	10	80	60	140	80	60	－	－	30
腐朽・破損あり	3,240	1,080	550	680	460	220	60	100	80	－
持 ち 家	1,940	900	370	360	140	50	30	50	30	－
借 家	1,300	180	180	320	320	170	30	50	40	－
公 営 の 借 家	430	20	110	20	140	130	－	－	10	－
民 営 借 家 (木 造)	580	150	40	180	120	30	－	50	－	－
民 営 借 家 (非 木 造)	220	10	30	110	10	－	30	－	30	－
給 与 住 宅	60	－	－	－	50	10	－	－	－	－
腐朽・破損なし	29,680	4,780	3,120	5,410	5,300	3,390	3,140	2,140	1,670	600
持 ち 家	23,610	4,460	2,480	4,450	3,800	2,640	2,420	1,420	1,360	520
借 家	6,030	320	640	960	1,500	750	720	720	300	80
公 営 の 借 家	1,080	40	270	360	210	40	80	60	10	－
民 営 借 家 (木 造)	2,360	240	260	380	590	320	250	190	110	10
民 営 借 家 (非 木 造)	2,190	20	40	170	610	320	340	470	180	30
給 与 住 宅	400	10	80	60	90	70	60	－	－	30

住宅を所有の関係別にみると、持ち家が25,560戸で、住宅全体に占める割合(持ち家住宅率)は、77.7%となっており、借家は7,320戸で、住宅全体の22.3%となっている。

腐朽・破損がある住宅は、3,240戸で、住宅全体の9.8%となっており、それを建築時期別にみると、昭和35年以前に建てられた住宅が1,080戸と、33.3%を占めている。

第5表 居住世帯のない住宅、住宅の種類別居住世帯のない住宅数

居住世帯のない住宅	総数	居住世帯のない住宅の種類別	
		専用住宅	店舗その他の併用住宅
居住世帯のない住宅総数	8,090	7,780	310
一時現在者のみの住宅	110	70	40
空　　き　　家	7,960	7,680	270
建　　築　　中	20	20	－

居住世帯のない住宅総数8,090戸のうち空き家が7,960戸で98.4%を占めており、空き家には共同住宅の空き室を含んでいる。

なお、一時現在者のみの住宅とは、昼間だけ使用しているとか、何人かの人が交代で寝泊まりしているなど、そこにふだん居住している者が一人もいない住宅をいう。

第6表 建築の時期、住宅の購入・新築・建て替え等別持ち家数

建築の時期	総数	新築の住宅を 購入	中古住宅を 購入	新築 (建て替えを除く)	建て替え	相続・贈与 で取得	その他
持ち家総数 ※	25,560	370	1,410	8,570	7,390	7,780	40
昭和45年以前	8,210	50	560	1,000	1,010	5,570	10
昭和46年～55年	4,810	60	330	1,750	1,390	1,270	10
昭和56年～平成2年	3,940	90	220	1,640	1,450	530	－
平成3年～12年	5,150	110	250	2,330	2,190	260	10
平成13年～17年	1,470	30	20	810	530	70	10
平成18年～22年	1,400	20	10	710	600	70	－
平成23年～25年9月	520	20	－	320	180	－	－

※建築の時期「不詳」を含む

持ち家総数25,560戸を取得方法別にみると、新築(建て替えを除く)が8,570戸(33.5%)と最も多く、相続・贈与で取得が7,780戸(30.4%)、建て替えが7,390戸(28.9%)と、約3割ずつを占め、中古住宅を購入の1,410戸(5.5%)、新築住宅を購入の370戸(1.4%)を大きく上回っている。

また、持ち家の取得方法を建築時期別にみると、相続・贈与で取得した住宅(7,780戸)のうち、昭和45年以前に建築された住宅が5,570戸(71.6%)となっている。

第7表 平成21年以降における住宅の耐震診断の有無、耐震改修工事の状況別持ち家数

平成21年以降における住宅の耐震診断の有無	総数	耐震改修工事をした						耐震改修工事をしていない
		総数 ※	壁の新築・補強	筋かいの設置	基礎の補強	金具による補強	その他	
持ち家総数	25,560	220	70	40	50	90	30	25,330
耐震診断をした	500	50	20	10	10	20	10	450
耐震性が確保されていた	500	50	20	10	10	20	10	450
耐震性が確保されていなかった	-	-	-	-	-	-	-	-
耐震診断をしていない	25,050	170	50	20	40	70	20	24,880

※複数回答であるため、内訳の合計等は必ずしも一致しない。

持ち家総数25,560戸のうち、平成21年以降に耐震診断をした住宅は500戸（2.0%）であった。

第8表 平成21年以降のリフォーム工事の状況、腐朽・破損の有無、建築の時期別持ち家数

住宅の所有の関係 腐朽・破損の有無	総数	建築の時期								
		昭和35年 以前	昭和36年 ～45年	昭和46年 ～55年	昭和56年 ～平成2年	平成3年 ～7年	平成8年 ～12年	平成13年 ～17年	平成18年 ～22年	平成23年 ～25年9月
持ち家総数 ※	25,560	5,360	2,850	4,810	3,940	2,700	2,450	1,470	1,400	520
腐 朽・破 損 あ り	1,940	900	370	360	140	50	30	50	30	－
腐 朽・破 損 な し	23,610	4,460	2,480	4,450	3,800	2,640	2,420	1,420	1,360	520
リフォーム工事を行った	7,580	1,690	900	1,700	1,420	690	610	280	220	60
腐 朽・破 損 あ り	400	170	50	120	20	20	10	－	10	－
腐 朽・破 損 な し	7,190	1,520	850	1,570	1,400	670	600	280	210	60
リフォーム工事を行っていない	17,970	3,670	1,950	3,110	2,530	2,000	1,840	1,190	1,180	460
腐 朽・破 損 あ り	1,550	730	320	230	120	30	20	50	30	－
腐 朽・破 損 な し	16,430	2,940	1,630	2,880	2,400	1,970	1,810	1,140	1,150	460

※建築の時期「不詳」を含む

持ち家総数25,560戸のうち、腐朽・破損がある住宅は1,940戸で持ち家全体の7.6%となっている。また、リフォーム工事を行ったのは7,580戸で29.7%、リフォーム工事を行っていないのは17,970戸で70.3%となっている。

リフォーム工事を行った持ち家を建築時期別にみると、「昭和35年以前」が1,690戸で22.3%、「昭和36年～45年」が900戸で11.9%、「昭和46年～55年」が1,700戸で22.4%、「昭和56年～平成2年」が1,420戸で18.7%と、リフォーム工事を行った住宅は、概ね「昭和」に建築された住宅で、その合計は5,710戸で75.3%となっている。